

近畿学校保健学会通信

No.92

平成11年2月1日発行
近畿学校保健学会事務所
〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1
兵庫教育大学疫学健康教育学研究室内
TEL&FAX (0795) 44-2180, 2178
振替口座 01140-8-89516

第46回 近畿学校保健学会の開催にあたって

第46回近畿学校保健学会

学会長 宮 下 和 久

(和歌山県立医科大学 教授)

新しい年を迎え、会員の先生には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年6月滋賀医科大学で開催されました第45回近畿学校保健学会におきまして、第46回本学会を和歌山県が当番としてお世話させていただくことになり、併せて不肖私が学会長の大役を仰せつかりました。会員の皆様方の温かいご支援、ご理解、ご協力を賜りまして、意義深い年次学会に致すべく、本年次学会企画運営委員の先生方とともに努力いたしたいと存じます。

学会期日は平成11年6月26日(土)、会場は和歌山市の南部に位置する和歌山県立医科大学新キャンパスとさせていただきます。本年5月には附属病院の移転も完了し、統合移転間もない新しい施設を使用して、開催させていただきたいと思います。交通は、市郊外に位置するためやや不便ですが、主要ターミナルから大学直通のバス路線も新設されますので、少し時間に余裕をみていただければスムーズにご利用いただけると存じます。詳細は次号の学会通信に掲載致します。

本学会の日程および内容につきましては、午前中は従来どおり一般演題の発表と質疑を行います。研究発表、実践発表の2つの分野に分けて演題を募集したいと思います。積極的なご発表、ご討論をお願い致します。午後は学会長講演、特別講演、シンポジウムを予定しております。特別講演は、「子供の目を通して環境と健康とを見つめることの意味」と題しまして、福岡大学教授、守山正樹先生に、先生が長年ご研究された新しい視点に立った健康学習、環境学習の実践的方法論をご紹介いただけるものと思います。また、シンポジウムでは、学校保健活動の第一線でご活躍の4人の先生方から、今学校現場で最も注目されている課題の1つである「心の健康づくり」に焦点をあて、心の健康の一次予防としての「こころを育てる」ために、何をどう取り組むべきかを討議していただくことにしております。

学会長講演は、私自身、保健所を通して地域保健にも少なからず関与している立場上、地域保健からみた学校保健、即ち、学校、地域社会の連携の中で育まれるべき子供たちの健康という視点で、ささやかな私見を述べさせて頂こうと考えております。

なお、本年次学会では、懇親会の持ち方を昼食時の昼食懇談会とさせて頂く新しい試みを本学会幹事会でお認め頂きました。従来の学会後に行っていた懇親会を昼食時に移し、時間に少し余裕をもたせて、バイキングスタイルの食事をとっていただきながら、会員相互の懇談を通じて親睦をはかっていただこうとするものです。より一層の親睦の場となりますよう一人でも多くのご参加をお願い致します。

会場の新キャンパスは、古く万葉に歌われた景勝“和歌の浦”を一望できる和歌川河口に位置し、東には名草山を背にして西国第二番札所紀三井寺がごぞいます。

どうか、多くの会員の皆様のご来和を心よりお待ち申し上げます。

第46回近畿学校保健学会開催要項

- | | | |
|-------------|-------------|--|
| 主
後
協 | 催
援
賛 | 近畿学校保健学会
和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
和歌山県医師会 和歌山県歯科医師会 和歌山県薬剤師会 和歌山市医師会 |
| 1. 学 会 長 | | 宮 下 和 久 (和歌山県立医科大学教授) |
| 2. 学会事務局長 | | 森 岡 郁 晴 (和歌山県立医科大学助教授) |
| 3. 事 務 局 | | 〒641-0012 和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学衛生学教室内
第46回近畿学校保健学会 TEL・FAX 0734-41-0646
郵便振替…口座番号…00920-0-85815
加入者名 第46回近畿学校保健学会 |
| 4. 開 催 日 時 | | 平成11年6月26日(土) 10:00~17:30 |
| 5. 会 場 | | 和歌山県立医科大学 (和歌山市紀三井寺811-1)
講堂、基礎教育棟 (大講義室、講義室1および2)
生涯研修センター会議室 福利厚生棟食堂
(交通: JR和歌山駅又は南海和歌山市駅より医大病院行のバスで約30分です。) |
| 6. 日 程 | | 受付開始 9:30
一般演題発表 (研究発表、実践発表) 10:00~12:00
昼食懇談会 (福利厚生棟食堂にて) 12:00~13:40
総 会 (講堂にて) 13:40~14:10
評議委員会 (生涯研修センター会議室にて) 13:00~13:40
学会長講演「家庭、学校、地域の連携が育む子どもの健康」 14:10~14:50
特別講演 福岡大学教授 守山正樹先生 14:50~15:50
「子供の目を通して環境と健康とを見つめることの意味」
シンポジウム 座長 武田眞太郎先生 15:50~17:20
「学校保健活動の未来像—心の健康づくりをめぐる—」 |
| 7. 会 費 | | (講演集題を含む)
正会員: 3,000円 (年会費) 当日会員: 2,000円 (当日会費)
学生: 1,000円 (当日会費) 会員昼食懇談会費: 1,000円
(評議員の昼食は昼食懇談会の会場でお取りいただきます。)
<u>今回は、夕刻の会員懇親会の代わりに、昼休みに昼食懇談会を企画させていただきます。お気軽にご参加ください。</u> |
| 8. 参 加 申 込 | | 会員資格の有無に関係なく、また近畿内外を問わず、参加を歓迎いたします。
事前にプログラムを必要とする場合は返信用封筒 (宛名記載及び80円切手貼付) を「近畿学校保健学会事務局」 (〒673-1415 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学疫学健康教育学研究室) 宛お送り下さい。5月下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」をお送りします。(会員には自動的にお送りします。) |
| 9. 一般演題申込 | | 下記の「第46回近畿学校保健学会一般講演募集要項」をご参照下さい。 |

第46回近畿学校保健学会一般演題募集要項

- | | |
|---------------|---|
| 1. 応 募 資 格 | 共同発表者を含めて正会員になる必要があります。現在会員でない方は、入会手続きをお取り下さい。(下記の入会手続きをご参照下さい。) |
| 2. 演 題 申 込 | |
| 1) 募 集 分 野 | 学校保健に関する ①研究発表及び ②実践発表の2分野。 |
| 2) 申 込 用 紙 | 会員に配布する「学会通信」に添付します。 |
| 3) 申 込 締 切 | 平成11年3月31日(必着) FAXでもかまいません。 |
| 4) 申 込 先 | 〒641-0012 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学衛生学教室内 第46回近畿学校保健学会事務局 |
| 5) 講演集作成用原稿用紙 | 申込者に折り返しお送りします。 |
| 6) 講演集作成用原稿締切 | 平成11年4月30日(必着) |
| 3. 入 会 手 続 | 「近畿学校保健学会事務局」へお申込み下さい。
〒673-1415 兵庫県加東郡社町下久米942-1
兵庫教育大学疫学健康教育学研究室
TEL・FAX 0795-44-2180 郵便振替口座 01140-8-89516 |

会長講演・特別講演・シンポジウム

○ 会長講演「家庭、学校、地域の連携が育む子どもの健康」

講師 和歌山県立医科大学教授 宮下 和久

地域社会には様々な社会集団の類型が存在するが、家庭は地域保健活動をすすめる際の最も基本的な単位である精神的なストレスを余暇と潤いのある家庭生活によって抑制し、子どもたち、家族全体が憩いの場として家庭が健康で文化的な生活の基礎となることが求められている。家庭を基盤として、学校、地域が子どもの発達段階に応じたそれぞれの役割分担を明確にし、心身ともに健康な子どもの育成に取り組む必要性を、地域保健に従事する立場、視点を加えて論じたい。

○ 特別講演「子供の目を通して環境と健康とを見つめることの意味」

講師 福岡大学教授 守山 正樹 先生

私たち保健医療従事者は、子供（学童）を対象とした保健活動を行っているにも関わらず、「子供って、比較的分かりにくい存在だ」と思っている場合が多い。特に小学校の中学年から低学年にかけての子供たちに対して、私たちはどれほどの信頼を置いているだろうか。多くの場合、子供たちの考えは大人に比較して、未熟で信頼性に乏しいと考えられている。それにも関わらずに、その子供たちについて何かを知りたいとき、例えば、子供本人ではなく親を対象に調査が行われる。しかし、子供たちは、それほど幼く、分かり難い存在なのだろうか？子供たちを直接に調査対象とすることは、あまり意味がないことなのだろうか。

著者はこの数年来、環境や健康を題材として、子供に直接に問い掛け、彼らが語ってくれる考え・意見を彼ら自身にフィードバックする形の調査方法を研究・開発して来ている。なぜ、このような調査方法に行き着いたのか、このような参加型／対話型の調査を通して子供たちは何を語り始めているのか、子供たちの視点の何がどのように貴重なのか、等の諸点に関し、実例を踏まえて紹介して行きたい。

○ シンポジウム「学校保健活動の未来像ー心の健康づくりをめぐるー」

座長 和歌山県立医科大学看護短期大学部長

武田 眞太郎 先生

子どもたちの心の健康に偏りがあるのではないかといわれて久しい。これに対して、今までにとられたいくつかの対応は、それぞれに思いがあり、ある程度の成果もあげてはいるが、いずれも後追いの対策で、問題は解消しない。

96年12月には保健体育審議会が「生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関す

る教育の在り方」について答申した。ヘルスプロモーションの考えに立脚しての提言であるとしているが、ここで取り上げられた取り組みは、いずれも対策的である。積極的に「こころ」の健康を推し進めようとする構えがみえない。

また、98年4月には、中央教育審議会が「新しい時代を拓く心を育てるために」という中間報告をまとめた。地域や家庭に対する提言とともに、「心を育てる場として学校を見直そう」としている。なぜ、学校が「こころを育てる場」でなくなったのか深い洞察が必要であるが、「ゆとりある学校生活で子どもたちの自己実現を図る」ために、自然と共生するゆとりと潤いのある学校環境づくりが重要であると――。尤もな提言ではあるが、実現できる裏打ちは全くない。結果的にみると、従来から、このような提言を受けて変革しようとする学校の努力を、学校を取り巻く社会環境が、いつも押し潰してきた。

そこで、一次予防としての健康な「こころを育てる」ことに日夜努力しておられる近畿の各地の地域や家庭を含む学校保健関係者に、どのように取り組むべきか、また、解決すべき隘路は何か、など討議していただき、少しでもプラスの方向に歩み出すきっかけになればと考えている。

平成10年度第1回幹事会議事録

日 時 平成10年10月31日（土）午後2時～5時00分
場 所 大阪教育大学天王寺学舎第2部会議室
出席者 板持、上延、大矢、勝野、金井、北村、後藤、白石、須藤、妻形、寺田、林、堀内、松岡（弘）、松岡（勇）、美崎、宮下、八木、山本、横尾（敬称略、50音順）
委任状提出者 7名

審議事項

1. 第46回近畿学校保健学会の開催要項について
宮下和久学会長より説明がなされ、承認された。
2. 次期学会（第47回）の開催地および学会長について
第47回近畿学校保健学会は京都府で開催予定であることが承認され、学会長は京都府の幹事により検討願い、次回に報告されることとされた。
3. 学会のあり方等に関する小委員会について
学会のあり方について種々の議論が行われ、小委員会等の設置も含めて今後継続して議論することとされた。

第46回近畿学校保健学会演題申込用紙

(①1題1葉に記入して下さい。 ②下記注意を守って下さい。)

☐ 研究発表 ☐ 実践発表 (どちらかにチェックマーク)			
演題名			
発表者氏名 所属 (連名の場合は演者名の左に○印、新入会員には*印)			
連絡先	郵便番号	住所 氏名	
	電話番号	FAX番号	
発表要旨 (100字程度) キーワード (2語程度)			
注 意 1. 申込締切：平成11年3月31日(期限厳守) (FAX可) 2. 申込先：〒641-0012 和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学衛生学教室内 第46回近畿学校保健学会事務局 TEL&FAX 0734-41-0646 3. 講演集作成用原稿用紙：申込用紙が到着次第お送りします。 4. 申込用紙不足の場合はこれと同じ形式のものを用いて下さい。 5. 内容は学校保健に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表、または根拠のある実践発表を希望します。 6. 発表者(共同発表者も)は原則として会費を前納して下さい。 7. ここに記載された演題名・発表者名は、すぐにプログラム及び講演集の印刷に供しますので後刻の訂正等には応じられません。			
事務局使用欄	受付番号	原稿用紙発送月日	月 日
	演題番号 A -	B -	C -
	発表時刻	～	